

事 業 評 価 書

補助事業名	市道センター7号線ほか1件整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市中央地内						
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、舗装整備後三十年以上経過していることから老朽化し、排水路には蓋がないタイプである為、車両と歩行者の安全を確保する為、蓋付きの排水路に整備して欲しいとの地元要望がある。</p> <p>この事から本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式 整備工事 市道センター7号線：L=144.4m、W=6.3m 市道センター6号線：L=69.4m、W=6.1m</p>						
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成26年度						
事業費及び交付金額		23年度	26年度				計
	事業費	10,794,000 円	15,773,400 円	円	円	円	26,567,400 円
	交付金額	8,100,000	12,838,000				20,938,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境の整備ができた。 ・地域住民へアンケートを実施し、安全性の向上が図られたとの回答が寄せられた。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も、老朽化及び排水路に蓋がない市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	市道高原26号線整備工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市高原地内					
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、道路幅員が狭く、対面通行ができない状態であり、又歩道が整備されていないことから地域住民及び近隣に所在する保育園の関係者から道路の幅員及び歩道の整備を実施して欲しい旨の要望がある。</p> <p>このため、本道路の拡幅及び歩道整備を実施し、地域住民及び近隣に所在する保育園の関係者が安全に利用できる環境を整備する。</p>					
補助事業の内容	実施設計 一式、物件補償 1件、用地購入 A=307.11㎡ 9筆 整備工事 L=80.11m、W=6.5m					
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成26年度					
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度	計
	事業費	10,794,000 円	18,936,000 円	12,270,492 円	21,524,400 円	63,524,892 円
	交付金額	8,100,000	12,500,000	6,870,000	19,372,000	46,842,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより、地域住民及び近隣に所在する保育園の関係者が安全に利用できる環境の整備ができた。 ・地域住民へアンケートを実施し、本事業を実施したことにより安全性の向上が図られたとの回答が寄せられた。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障を来す市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	消防活動広報自動車購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市山内地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市が保有する消防活動広報自動車は、災害時等の警戒広報活動や避難誘導で活用しているが、本車両は購入から16年が経過し、度々不具合が生じ、出動時に支障を来している状況である。</p> <p>このため、本車両の更新を行い、今後も安定的に使用できるよう措置することで、災害時等の警戒広報活動や避難誘導を行える環境を維持する。</p> <p>(参考指標) 年間平均出動回数：14回/年</p>					
補助事業の内容	消防活動広報自動車 1台					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	4,038,444 円	円	円	円	4,038,444 円
	交付金額	4,038,000				4,038,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、災害時警戒広報活動に従事することが出来た。また、車両更新後1年間不具合発生は無く、出動件数も14件となっており、災害時等の警戒広報活動や避難誘導を安定的に行える環境を維持することができたと評価する。</p> <p>本車両の整備が「沖縄防衛局調整交付金事業」である旨を以下の方法により、地域住民への周知を図った。</p> <p>(1) 本車両へ記載 (2) 本市消防ホームページでの車両更新広報</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も本市の消防力の現状や、市民のニーズを把握しながら、事業を実施していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	市立諸見幼稚園ほか1園物品購入						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市胡屋・宮里地内						
補助事業の成果の目標	<p>現在、幼稚園に設置している遊具は老朽化しており、一部の遊具は危険な為、使用禁止となっている。</p> <p>このため、遊具を新たに整備し、園児の身体能力の向上や協調性を養うことのできる安全な環境を整える。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備後1年間の修繕件数：0件（平成25年度修繕件数：2件） 						
補助事業の内容	複合遊具等 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	10,962,000	円	円	円	円	10,962,000
	交付金額	10,962,000					10,962,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、園児が安全に遊べる環境の整備ができた。平成27年度は整備後の1年目で遊具の修繕もなく安全に利用された。（修繕件数：0件）</p> <p>本遊具の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、地域住民へ周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 設置した遊具に交付金事業である旨のシールを貼る。 2) 幼稚園しおりに明記 						
事業の改善措置及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も幼稚園と調整しながら老朽化した複合遊具の整備を行う。 						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市立美里小学校屋外運動場整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市美里地内						
補助事業の成果の目標	<p>美里小学校校舎は、危険改築のため旧屋外運動場に新たな校舎を整備したことに伴い、屋外運動場を旧校舎跡地に整備することにより、屋外における体育や昼休み等の遊び場として利用できる環境を整える。</p> <p>(参考指標) 屋外運動場を使用する授業及び行事予定回数：1,630回</p>						
補助事業の内容	屋外運動場 A=8,400㎡ 屋外便所・体育器具庫 A=111㎡ 東屋 A=16㎡						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	159,082,920	円	円	円	円	159,082,920
	交付金額	140,170,000					140,170,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、4月～7月にかけて、体力テストやハードルリレー、ハンドボール、タグラグビーなど、また9月の運動会練習や10月～3月にかけてはキックベースボールやサッカーなどが行われ、年間を通して体育授業や休み時間の遊び場所として利用されている。 屋外運動場を使用する授業及び行事回数は1,755回となっており、屋外における体育や昼休み等の遊び場として利用できる環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 運動場整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下に記載し、地域住民及び保護者への周知を図った。 ① 工事案内 ② 工事看板 ③ 学校だより ④ 学校ホームページ</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、屋外運動場施設の維持管理を適切に行い、子ども達が安全及び快適に利用出来るような学校環境の保全を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市生涯学習マイクロバス購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市仲宗根町地内					
補助事業の成果の目標	<p>沖縄市は、生涯学習振興に資することを目的に生涯学習マイクロバスを市民・団体等に貸出している。</p> <p>しかしながら、既存車両は老朽化しており、度々故障することから、本車両を利用する市民・団体等の活動に支障を来している状況にある。</p> <p>このため、車両を更新することで、市民・団体等が当該車両を利用した生涯学習を行う環境を維持する。</p> <p>(参考指標)</p> <p>平成25年度利用回数：160回</p> <p>平成25年度修繕回数：6回</p>					
補助事業の内容	マイクロバス 1台					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	5,324,400 円	円	円	円	5,324,400 円
	交付金額	5,150,000				5,150,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本車両を整備したことにより、市民・団体等が生涯学習を行える環境が維持できた。平成27年度は故障も不具合もなく、使用した団体からもさらに活用したいという声も聞かれる。安全に生涯学習体験や社会教育を学ぶために役立っている。</p> <p>市民への周知について、本車両及び市ホームページで実施した。各団体等から本車両の問合せ件数が増加した。</p> <p>平成26年度の貸し出し回数 135回</p> <p>平成27年度の貸し出し回数 152回</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も市民・各団体等が生涯学習を行えるよう車両の管理運営を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	市道越来20号線ほか3件整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市越来・美里地内						
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、舗装整備後三十年以上経過していることから、老朽化し、排水路は蓋がないタイプである為、車両と歩行者の安全を確保する為、蓋付きの排水路に整備して欲しいとの地元要望がある。</p> <p>この事から本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式 整備工事</p> <p>市道越来17号線：L= 45.8m、W=4.1m 市道越来20号線：L= 92.4m、W=3.8m 市道越来21号線：L= 75.5m、W=4.0m 市道美里29号線：L=121.9m、W=5.4m</p>						
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成26年度						
事業費及び交付金額		23年度	26年度				計
	事業費	13,944,000 円	26,028,000 円	円	円	円	39,972,000 円
	交付金額	10,705,000	23,424,000				34,129,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境の整備ができた。 ・地域住民へアンケートを実施し、安全性の向上が図られたとの回答が寄せられた。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も、老朽化及び排水路に蓋がない市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	保安灯設置工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市池原外35地区						
補助事業の成果の目標	<p>当市には、道路に保安灯が設置されていない地区が存在し、夜間の歩行者の安全に支障を来している状況にあるため、関係する地区住民から保安灯の設置要望が市に寄せられている。</p> <p>また、既存の保安灯が老朽化している地区においても更新にあわせ保安灯をLED化し、維持管理費用の軽減を図って欲しいとの要望が市に寄せられている。</p> <p>このため、保安灯が未設置の地区については、LED化した保安灯を新たに設置し、既存の保安灯が老朽化している地区については、LED化した保安灯に更新することにより歩行者の安全を確保するとともに、保安灯の維持管理費の低減を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安灯1基あたり電気料金：2,496円/年（LED） <li style="padding-left: 20px;">5,148円/年（水銀灯） 						
補助事業の内容	保安灯設置工事 鋼管柱自立型 12基 電柱共架型 601基						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	47,736,000	円	円	円	円	47,736,000
	交付金額	47,736,000					47,736,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. H27.4月の広報誌「広報おきなわ」にて補助事業の周知をおこなった。 2. 本事業で保安灯を設置した自治会の会長にアンケートを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・保安灯を新設した箇所周辺の地域住民から、安全性が高まり、安心して暮らすことができると感謝の言葉が多数寄せられた。 ・改修したLED保安灯は従来の保安灯より電気料金が安く、自治会の負担が軽減された。 						
事業の改善措置及び今後の対応	既存の保安灯を改修した場合は確実に維持管理費の低減につながっており、特に問題は無いと考えている。しかし、電力需要量の増減にともない電気料金自体が値上がりしており、保安灯のLED化を早期にすすめ、維持管理費のさらなる低減を図っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市立美里小学校ほか2校物品購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市美里上地・安慶田地内					
補助事業の成果の目標	<p>教育用コンピュータは、コンピュータ操作の習熟や各教科での活用など、児童生徒の情報活用能力の育成を図る授業を実施するために整備している。しかし、既存の教育用コンピュータは設置後8～9年がたち、経年劣化のため、故障やフリーズが発生するため、授業に支障を来している状況である。</p> <p>このため、既存の教育用コンピュータの更新を行うことで、円滑な授業を行うことができる環境を整備する。</p> <p>(参考指標)</p> <p>年間授業利用時間(平成25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美里小学校：255時間 ・安慶田小学校：168時間 ・中の町小学校：91時間 					
補助事業の内容	コンピュータ 113台 サーバー機器 一式					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	35,111,880	円	円	円	円
	交付金額	35,111,000				35,111,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 整備後の授業利用時間数等を、平成27年4月から平成28年3月の期間で集計した結果、美里小学校：341時間、安慶田小学校：221時間、中の町小学校：105時間であった。また、故障・フリーズ件数はともに0件で、児童に対して円滑な授業を行うことができている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を以下の方法により学校関係者及び地域住民への周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① コンピュータへ記載 ② 各学校だよりへ掲載 ③ 各学校ホームページへ掲載 					
事業の改善措置及び今後の対応	最適な情報教育環境を整備するため、市内各校の経年劣化した教育用コンピュータを順次更新する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	明道汚水枝線改築工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市明道地内					
補助事業の成果の目標	<p>沖縄市明道一丁目地区に布設されている汚水管路は、昭和57年の布設から約33年が経過しているため、老朽化が進んでいる状況にある。今後、さらなる老朽化によって管路機能に支障が出た場合、通水阻害や道路陥没による交通傷害等、地域住民の生活に多大な影響を及ぼすこととなる。</p> <p>このため改築工事を行うことで、公衆衛生の悪化や道路陥没等の被害を事前に防ぎ、地域住民の生活環境の保全に繋がることを目的とする。</p>					
補助事業の内容	改築工事 更生工法 L=201.83m					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	円 15,984,000	円	円	円	円 15,984,000
	交付金額	15,984,000				15,984,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、悪臭等による公衆衛生の悪化や、管腐食等による道路陥没の被害等を未然に防ぎ、地域住民の生活環境の保全が図られている。</p> <p>また、工事実施前における付近住民への工事案内文や工事実施中の工事安全看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを記載し地域住民への周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、管路の維持管理を適切に行い、地域住民の生活環境の保全を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	泡瀬第三地区コミュニティ供用施設改修工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市泡瀬地内					
補助事業の成果の目標	<p>泡瀬第三地区コミュニティ供用施設は、サークル活動等を通し、地域住民が身近に利用している施設であるが、数年前から台風等の大雨・暴風雨時に建物内へ漏水している状況である。</p> <p>このことから、本施設の防水工事を実施することで、建物内への漏水を防ぎ、地域住民が安全に利用できる環境を整備する。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間施設利用人数：18,398名 ・年間施設利用回数：928回 ・平成25年度漏水回数：3回 					
補助事業の内容	改修工事 A=787.71m ²					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	12,960,000	円	円	円	円
	交付金額	12,960,000				12,960,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>■補助事業の成果及び評価 本事業を実施したことにより建物内への漏水を防ぐこと出来た。また、改修後の利用人数・利用回数及び漏水発生状況は下記のとおりとなっており、地域住民が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。</p> <p>改修後1年間の以下の内容を確認する。</p> <p>①施設利用人数・利用回数 (平成27年度 年間利用人数：20,997人 年間利用回数：871回) 利用回数は若干減ってはいるが、利用人数は増加している。</p> <p>②漏水発生状況 自治会に確認したところ、一度も発生していない。雨漏りの心配が無くなり、使用し易くなったとの意見があった。</p> <p>■地域住民への周知の実施状況 以下の方法により地域住民への周知を図った。</p> <p>①地域自治会の広報誌に掲載 ②工事中の看板に掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の要望を考慮し、誰もが利用しやすいように施設改修を行っていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市立室川小学校ほか1校物品購入						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市室川・比屋根地内						
補助事業の成果の目標	<p>教育用コンピュータは、コンピュータ操作の習熟や各教科での活用など、児童生徒の情報活用能力の育成を図る授業を実施するために整備している。しかし、既存の教育用コンピュータは設置後5～6年がたち、経年劣化のため、故障やフリーズが発生するため、授業に支障を来している状況である。</p> <p>このため、既存の教育用コンピュータの更新を行うことで、円滑な授業を行うことができる環境を整備する。</p> <p>(参考指標)</p> <p>年間授業利用時間 (平成25年度 ⇒ 平成26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室川小学校：282時間 ⇒ 84時間 ・比屋根小学校：210時間 ⇒ 181時間 						
補助事業の内容	コンピュータ 66台 サーバー機器 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度				計	
	事業費	24,343,200	円	円	円	円	24,343,200
	交付金額	24,343,000					24,343,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 整備後の授業利用時間数等を、平成27年4月から平成28年3月の期間で集計した結果、室川小学校：82時間、比屋根小学校：236時間であった。また、故障・フリーズ件数はともに0件で、児童に対して円滑な授業を行うことができている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を以下の方法により学校関係者及び地域住民への周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① コンピュータへ記載 ② 各学校だよりへ掲載 ③ 各学校ホームページへ掲載 						
事業の改善措置及び今後の対応	最適な情報教育環境を整備するため、市内各校の経年劣化した教育用コンピュータを順次更新する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市立室川小学校屋内運動場物品購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市室川地内					
補助事業の成果の目標	<p>本小学校の屋内運動場は、体育の授業やクラブ活動、学校行事で使用しているが、既存の物品は購入後20年以上経過しており、老朽化及び破損し、授業等に支障を来している状況である。</p> <p>このため、既存の屋内運動場の物品を更新し、授業等を安定的に行える環境を整備する。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館を使用する授業予定回数：581回/年 ・ 体育館を使用する行事予定件数：7件/年 					
補助事業の内容	体育館備品 一式					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	6,188,400 円	円	円	円	6,188,400 円
	交付金額	5,907,000				5,907,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 整備後の体育館利用数を平成27年4月から平成28年3月の期間で集計した結果、授業数が532回、行事件数が23件であった。またそのほとんどが本事業で整備した備品を活用しており、児童に対して円滑な授業・行事を行うことができている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を以下の方法により学校関係や及び地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各備品へ記載 ② 学校だよりへ掲載 ③ 学校ホームページへ掲載 					
事業の改善措置及び今後の対応	より安全な教育環境を整備するため、体育館建替え工事の際には、経年劣化した備品を中心に順次更新する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市テレワークセンター物品購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市中央地内					
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、Word・Excel等のパソコンを活用した講座を開設しているが、講座等で使用するパソコン（平成19年度に購入）が経年劣化のため、故障やフリーズが発生し、講座の運営に支障を来している状況である。</p> <p>このため、既存のパソコンの更新を行うことで、円滑な講座を行うことができる環境を整備する。</p> <p>（参考指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間講座回数：195回 ・年間利用者数：7,890名 					
補助事業の内容	パソコン等 一式					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	14,040,000 円	円	円	円	14,040,000 円
	交付金額	14,040,000				14,040,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本施設のパソコンを更新したことにより、円滑な講座を行う環境の整備ができた。平成27年度の講座171回開催し、利用者数8,983名の参加がありました。その間故障・フリーズ等はなく講座を実施できた。</p> <p>利用者及び市民への周知については、各パソコン、市民講座のお知らせ、広報おきなわ（市広報誌）、沖縄市ホームページ、沖縄市テレワークセンターホームページ等に掲載し周知を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>これまで各種講座受講者の情報技術向上に寄与してまいりました。PC整備に伴い、各種講座においては、基本操作を学ぶ機会の創出や資格認定試験を通じての就業支援を図り、講座の時間以外については、市民の情報リテラシーの向上を図るため、定期的に開放し利用促進に努めてまいります。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	山内コミュニティセンター改修工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市山内地内						
補助事業の成果の目標	<p>山内コミュニティセンターは、健康増進、教育文化の向上を図るため、地域住民が身近に利用している施設であるが、整備後26年が経過しており、屋上の防水シートが剥がれるなどの状況が発生している。</p> <p>このため、本施設の改修工事を実施し、地域住民が身近に利用できる環境を維持する。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度年間施設利用人数：1,183名 ・平成25年度年間施設利用回数：547回 						
補助事業の内容	改修工事 A=293.87㎡						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	4,232,173	円	円	円	円	4,232,173
	交付金額	3,750,000					3,750,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>■補助事業の成果及び評価 改修後1年間の以下の内容を確認</p> <p>①施設利用人数・利用回数 (平成27年度 年間利用人数：1,250人 年間利用回数：550回) 使用人数、利用回数とも若干増加している。雨漏りの心配も無くなり、トイレも使いやすくなったとの意見があった。</p> <p>■地域住民への周知の実施状況 以下の方法により地域住民への周知を図った</p> <p>①地域自治会の広報誌に掲載 ②工事中の看板に掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の要望を考慮し、誰もが利用しやすいように施設改修を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	市立高原幼稚園ほか1園物品購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市高原・室川地内					
補助事業の成果の目標	<p>現在、幼稚園に設置している遊具（昭和58年度設置）は老朽化しており、遊具を使用する園児の怪我を防止するため、修繕を行ってきたが、保育所より遊具の更新の要望がある。</p> <p>このため、遊具を新たに整備し、園児の身体能力の向上や協調性を養うことのできる安全な環境を整える。</p> <p>（参考指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備後1年間の修繕回数：0件（平成25年度修繕件数：2件） 					
補助事業の内容	複合遊具等 一式					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	9,612,000	円	円	円	円
	交付金額	5,844,000				5,844,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、園児が安全に遊べる環境の整備ができた。平成27年度は整備後1年目で遊具の修繕もなく安全に利用されており、園児のための安全な環境を整えることができたと評価する。</p> <p>（修繕回数：0件）</p> <p>本遊具の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、地域住民へ周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 設置した遊具に交付金事業である旨を記載。 2) 幼稚園しおりに明記 					
事業の改善措置及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も幼稚園と調整しながら老朽化した複合遊具の整備を行う。 					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	児童福祉バス購入						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市登川地内						
補助事業の成果の目標	<p>児童福祉バスは、公立・認可・認可外保育所等の園外保育に対応してきたが、バス導入から17年が経過していることから、老朽化のため不具合が生じており、近年はそれらの修繕などを行いながらバスの運行管理を行っている。また、本市には97施設の保育所等が存在し、これまで1台のバスで園外保育に対応してきたが、バスが不足して園外保育に支障を来しており、保育所よりバスを増やして欲しいとの要望がある。</p> <p>このため、児童福祉バスを更新することにより利用者が安全に利用できる環境を維持する。また、バスを1台増やし2台体制とすることにより園外保育を行う環境の向上を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間修繕回数：0回（平成25年度：4回） ・年間運行日数：174日（利用者数：10,221人） 						
補助事業の内容	マイクロバス 2台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	10,448,209	円	円	円	円	10,448,209
	交付金額	10,448,000					10,448,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、車両故障の不安もなくなり、利用者が安全にバスを利用する環境を維持することができた。また、バスの台数を増加させたことで、認可外保育施設からの利用も増え、本市における園外保育を行う環境の向上が図れた。</p> <p>修繕回数 0回 運行日数 延べ263日（利用者：延べ12,134人）</p> <p style="margin-left: 20px;">4月 8日間（266人）／5月 13日間（516人） 6月 27日間（1,104人）／7月 33日間（1,368人） 8月 19日間（664人）／9月 20日間（837人） 10月 36日間（1,631人）／11月 22日間（1,233人） 12月 16日間（687人）／1月 25日間（965人） 2月 18日間（1,641人）／3月 26日間（1,222人）</p> <p style="margin-left: 20px;">※運行日数、利用者数は、2台の合計数</p> <p>本車両への記載、広報誌と市ホームページへの掲載と利用団体への周知済み。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、公立・認可・認可外等の園外保育が行えるよう本車両の維持運営を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	市道池原37号線ほか7件整備工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市池原・知花・松本・嘉間良・古謝・胡屋・園田地内					
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路及び児童生徒の通学路として利用されているが、道路幅員が狭く、歩道が整備されていないことから地域住民及び学校関係者から歩行者の安全を確保するため、歩道の整備を実施して欲しい旨の要望がある。</p> <p>しかし、歩道整備には用地買収等の問題もあることから、道路端部のカラー舗装化で明確化し、地域住民及び近隣学校の児童生徒が安全に利用できる環境を整備する。</p>					
補助事業の内容	整備工事 カラー舗装 A=2,098.8㎡					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	円 21,492,000	円	円	円	円 21,492,000
	交付金額	19,342,000				19,342,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより、地域住民及び近隣学校の児童生徒が安全に利用できる環境の整備ができた。 ・地域住民及び学校関係者へアンケートを実施し、安全に通行できるようになったとの回答が得られた。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、歩道がない市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市越来小学校ほか22校AED購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市内					
補助事業の成果の目標	<p>本市内の小中学校プールは、授業や夏休み期間に地域住民に開放し利用されているが、プールなど運動負担中に心肺停止の発生リスクが高い施設にはAEDの設置が求められている（AED適正配置に関するガイドライン）。</p> <p>しかし、本市内の各学校プールにはAEDが設置されていないことから、本事業で各学校プールにAEDを設置することによって、心肺停止が発生した場合にプール利用者の生命を守り、安心した学校教育・地域活動が行える環境を整備する。</p> <p>（参考指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AED講習：2回/年 ・ 年間のプール利用日数（小学校）：80日 ・ 年間のプール利用日数（中学校）：55日 					
補助事業の内容	AED 23台					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	円 11,615,184	円	円	円	円 11,615,184
	交付金額	7,675,000				7,675,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより市内の各学校プールにAEDを設置することが出来た。また、安心した学校教育・地域活動が行えるよう、AED講習をプール管理員に対して5月及び7月に実施した。年間プール利用日数は小学校平均82日、中学校平均約56日となっており、プール利用者の安心した学校教育・地域活動が行える環境を整備できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を以下の方法により学校関係者及び地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① AED収納ケースへ記載 ② 学校だよりへ記載 ③ 本市ホームページでの公表 ④ 本市メールマガジンでの公表 					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後は、安心した学校教育・地域活動が行える環境整備のために、プール管理指導員に対してAED講習を毎年実施する。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市かりゆし交流センター園庭遊具購入					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市知花地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市かりゆし交流センター内「児童発達支援事業つくし園」は、専門家による発達相談や言語指導等を親子で受けることで、当該児童の発達に必要な保育・療育を行う施設として利用されている。本施設の園庭遊具は設置から26年が経過し、老朽化のため使用を禁止しており、施設利用者から園庭遊具を整備して欲しいとの要望がある。</p> <p>このため、園庭遊具を新たに整備し、児童の身体能力の向上や協調性を養うことのできる安全な環境を整える。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間施設利用者数：330名（平成27年度見込み） 					
補助事業の内容	園庭遊具等 一式					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費及び交付金額		26年度				計
	事業費	6,026,400 円	円	円	円	6,026,400 円
	交付金額	3,700,000				3,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、施設利用者の遊具使用が増えたことで、児童の身体能力の向上と安全な環境を整備することができた。</p> <p>施設利用者数（H27.4～H28.3）：延べ2,770人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月/167人 5月/160人 6月/169人 7月/212人 8月/206人 9月/218人 ・ 10月/261人 11月/247人 12月/256人 1月/288人 2月/297人 3月/289人 <p>平成28年2月のアンケート実施の結果、遊具の整備により喜んで登園するようになったとの声もあることから、児童の通園に好影響を与えており、利用者からも評価を得ている。</p> <p>また、本遊具の記載、ホームページへの掲載、広報誌への掲載、施設利用者への周知も行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設利用者の要望を踏まえ、施設の改善及び施設運営に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					